

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成23年度採択テーマ 中間評価結果

【河川管理のためのモニタリング手法の合理化・高度化技術】

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	河川縦横断測量を高度化、効率化するための航空機レーザ計測適用に関する研究	(株)パスコ 坂下 裕明	c	日本の河川における拡散消散係数や地形の制約の調査など、必要な基礎的データは収集できているが、ALBによる実際の観測データを用いた検証が不足している。既往のデータ等を最大限活用し、水中部において精度を確保する条件を明確にすることに留意して研究計画を修正する必要がある。
概要	従来の定期縦横断測量の代替として、航空機レーザ測深機(Airborne Laser Bathymetry)を用いた河川の水面下地形を連続的に取得する手法を研究するとともに、河床材料や植生等の判別可能性を検証し、河川地形のモニタリング手法の確立を目的とする。			
テーマ	光ファイバによる広域モニタリングシステムの開発と氾濫予測技術への活用	東京大学 村山 英晶	b	下水道における観測データの取得等に関して研究計画に遅れが見られる。下水道のみならず河川の水位・流量データも含めた広域モニタリングシステムとして研究を進めることなどに留意しながら、研究の遅延を取り戻すことにより、当初計画に掲げた成果を達成することを期待する。
概要	地表・地下で河川管理に関わる面的な情報を効率的にモニタリングし、リアルタイムの状況把握によって河川管理を高度化するため、光ファイバセンサネットワークを開発する。			

評価の凡例

- a:非常に優れた研究であった。
- b:優れた研究であった。
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)
- d:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)